

平成30年度 教育助成金交付団体

1 学校関係(各校 25万円交付)

	学校名	校長名	教科等	研究主題
1	広島市立東原中学校	住吉 磨	総合的な学習の時間	自ら課題を見つけ、学び考え表現できる生徒の育成 ～協働的・対話的な学習活動を通して～
2	東広島市立木谷小学校	長沼 正夫	生活科・総合的な学習の時間	主体的な学びの創造 ～地域に学び、自らと向き合う協働的な学習づくり～
3	世羅町立甲山小学校	池岡 妙子	算数科	主体的な学びを育む算数科授業の創造 ～学び合いを深める指導の工夫を通して～
4	安芸高田市立川根小学校	新宅 敦彦	へき地教育	ふるさとで心豊かに学び、新しい時代を切り拓く子どもの育成 ～学び合い、深く考える児童・生徒の育成～
5	府中町立府中小学校	竹下比登美	国・理・体・特活・生活・総合的な学習の時間	主体的・対話的で深い学びの創造する児童 ～わたしがわたしになる学び「いのちの教育」を核として～
6	三原市立糸崎小学校	西田千加子	各教科、領域、教育活動	自律的な学び手を育てる教育活動の創造 ～深い学びを通して～
7	庄原市立山内小学校	宮地 嗣	図画工作科・造形教育	自信をもって思いを表現する児童の育成 ～「みたい!」「かきたい!」「つくりたい!」心躍る造形教育を通して～
8	福山市立深津小学校	石井 秀司	算数科・音楽科	主体的・協働的に学び、資質・能力を育む授業の創造 ～課題発見・解決の過程を設定した単元指導計画の工夫を通して
9	広島県立広島北特別支援学校	三浦 直宏	特別支援教育	児童生徒が分かってできるにつながる授業づくり ～広北版「学びの変革」アクション・プラン単元計画・授業シートを活用した実践を通して～
10	広島県立瀬戸田高等学校	藤本 寅肇	総合的な学習の時間・特別活動	地域の課題を考え、課題解決に貢献する態度と実践力の育成 ～総合的な学習の時間等における地域活性化の取り組みを通して～
11	広島市立春日野小学校	三京 真理	図画工作科	心豊かに深く学び、よりよく伸びよつとする子どもを育成する図画工作科 ～感性と想像力を働かせ、心豊かに生きる子どもをめざして～
12	広島市立観音小学校	三上 正浩	体育科	自他を大切にし、主体的に学ぶ授業の創造 ～「できる」につながる「わかる」を大切にした体育科の深い学びとは～
13	広島市立大塚中学校	宮奥 和司	英語科を中心に	英語を活用して自分の言葉で広島について語ることができる生徒の育成 ～英語を聞くこと話すことを通じたコミュニケーション能力の育成～

2 研究グループ (1グループ 10万円交付)

	グループ名	代表者	教科等	研究主題
1	大竹市・廿日市市教育研究会 社会科部会	長谷川 進	社会科	社会的な見方・考え方を育成する社会科授業の創造 ～社会との関わりを意識した単元開発～
2	特別支援学校のセンター的機能を活用する会	井丸真由美	自立活動	発達をつまずきがある生徒へのアプローチの研究
3	FKJ(福山北特別支援学校授業づくり)研究会	山田 康太	特別支援教育	資質・能力を活用する児童生徒の育成
4	探求プロジェクトチーム	田丸 照彦	総合的な学習の時間・特別活動・人権教育	資質・能力育成の視点から見直す「総合的な学習の時間」 ～「総合的な学習の時間」をカリキュラム・マネジメントの柱に位置づけるための研究～
5	個に応じた指導研究グループ	保手濱利益	算数科	小学校中学年を対象とした学力定着
6	学習指導要領改訂に対応した実践研究会	梶田 英之	カリキュラム・マネジメント	教育活動の質の向上に向けたカリキュラム・マネジメントのあり方
7	広島市立鞆町中学校プログラミング教育推進研究会	和高 秀文	技術・家庭科・情報に関する技術	新しい時代に必要な資質・能力の育成を図るプログラミング教育のあり方
8	広島市立城山中学校	相川 悟司	全教科	生徒同士の関わりの中で、主体的に思考し、判断し、表現できる生徒の育成 ～特別支援教育の視点、つなぎ・広め・深める工夫、ICTの効果的な活用～

	グループ名	代表者	教科等	研究主題
9	英語教育研究会	久保田まゆみ	英語・総合的な学習の時間	グローバル人材として必須の要素である「英語力」及び「コミュニケーション能力」の向上に向けた効率的・効果的な教育方法の研究

3 子ども健全育成団体（1団体 10万円交付）

	団体名	代表者	指導対象	指導目標等
①	くらりか広島	山田 洋史	小学校高学年 約800人	ペットボトルや牛乳パックなどの身近な材料や100円ショップで買える材料を使って理科の工作を行い、ものづくりの楽しさと科学の大切さを学ぶ。
2	特定非営利活動法人 江田島 eスポーツクラブ	小道 廣海	未就学児童・小学生 約30人	昔の遊びを通じて、日本特有の伝統文化を継承し、参加者のコミュニケーションを図り、子どもたちの健全育成に寄与する。
3	大竹市青少年育成市民会議	檜垣 三郎	小学校4～6年生 100名程度	3泊4日の自然の中での生活体験キャンプを実施。携帯電話やゲーム機などの人工的なものから離れ、日々変化する川の流れや緑豊かな山の中で、体全体で自然を感じてもらうとともに、自立心や協調性を養い、子どもたちの成長を促すのを目的とする。
4	三次地区子ども会育成連絡協議会	山口 一樹	小学校1～6年 延べ100人	自然と地域という学びの場を通して、自然体験活動を日常生活につながる生きる力を育む。
5	古田地区青少年健全育成連絡協議会	小畑 賢藏	古田小4年生 122名	稲作りを通して自然に親しむとともに、共同作業をする中で児童同士のふれあいを深め、ものを育てることの大変さを体感することで、食べ物大切に作る気持ちを育み、健全育成を図る。
6	竹屋獅子舞	山重 博子	竹屋小5,6年 児童 75人	地域の伝統の獅子舞を取り入れた「竹屋祭り太鼓」を伝承することを通して、地域を愛し大切にしようとする心を育成する。

4 第58回広島県へき地小規模校教育研究大会（25万円交付） へき地教育研究部会

主題 ふるさとで心豊かに学び、新しい時代を切り拓く子どもの育成
—学び合い、深く考える児童・生徒の育成—

期日 平成30年10月28日(金)

会場 安芸高田市立高宮中学校, 川根小学校, 来原小学校, 船佐小学校